

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【公表番号】特表2010-511162(P2010-511162A)

【公表日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-014

【出願番号】特願2009-538716(P2009-538716)

【国際特許分類】

G 01 J 1/02 (2006.01)

G 01 J 1/42 (2006.01)

G 01 J 3/50 (2006.01)

【F I】

G 01 J 1/02 B

G 01 J 1/02 S

G 01 J 1/02 V

G 01 J 1/42 L

G 01 J 1/42 J

G 01 J 3/50

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月23日(2011.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

検出装置(2)と調整装置(3)を備えたビーム検出器(1)であって、

当該検出装置は多数の検出器部材(4、5、6)を有しており、

前記ビーム検出器の作動時に当該検出器部材によって検出器信号(DS)が得られ、

・前記検出器部材はそれぞれ1つのスペクトル感度分布(400、500、600)を有しており、信号形成(S<sub>4</sub>、S<sub>5</sub>、S<sub>6</sub>)に適しており、

・少なくとも1つの検出器部材は化合物半導体材料を含んでおり、かつ当該検出器部材は可視スペクトル領域におけるビームを検出するために構成されており、

・前記検出器部材の感度分布によって、ビーム検出器の種々異なるスペクトル感度チャネル(420、520、620)が形成されるように、前記ビーム検出器が構成されており、

・前記感度チャネルにおいて、前記検出器部材によって、各感度チャネルに割り当てられたチャネル信号(K<sub>4</sub>、K<sub>5</sub>、K<sub>6</sub>)が形成され、

・種々異なるチャネル信号の、ビーム検出器の検出器信号に対する関与が異なって調整されるように、前記調整装置が構成されており、

前記ビーム検出器の検出器信号は、チャネル信号の重畠によって構成されており、

当該ビーム検出器は前記調整装置によって、周辺光センサとしても色センサとしても動作可能である、

ことを特徴とするビーム検出器。

【請求項2】

前記調整装置は、チャネル信号の、検出信号に対する関与を相対的に相互に異なって重み付けする、請求項1記載のビーム検出器。

**【請求項 3】**

前記調整装置は多数の入力側（E<sub>4</sub>、E<sub>5</sub>、E<sub>6</sub>）を有しており、当該入力側を介して、前記検出器部材内で形成された信号が調整装置に入力され、種々の入力側に種々異なる検出器部材が割り当てられている、請求項1から2までの少なくとも1項記載のビーム検出器。

**【請求項 4】**

前記調整装置は多数の調整端子（94、95、96）を有しており、当該調整端子を介して、検出器信号に対するチャネル信号の関与が調整可能である、請求項1から3までの少なくとも1項記載のビーム検出器。

**【請求項 5】**

個々のチャネル信号は、異なる検出部材において生成された2つの信号によって得られる、請求項1から4までの少なくとも1項記載のビーム検出器。

**【請求項 6】**

チャネル信号は、異なる2つの検出器部材において生成された信号の差（10）を形成して得られる、請求項1から5までの少なくとも1項記載のビーム検出器。

**【請求項 7】**

前記感度チャネルはスペクトル的に重畠している、請求項1から6までの少なくとも1項記載のビーム検出器。

**【請求項 8】**

前記感度チャネルは、可視スペクトル領域が覆われるように重畠している、請求項1から7までの少なくとも1項記載のビーム検出器。

**【請求項 9】**

前記ビーム検出器が、人間の眼のスペクトル分布（700、702）に相応する検出器感度のスペクトル分布を備えた周辺光センサとして作動可能であるように前記調整装置は構成されている、請求項1から8までの少なくとも1項記載のビーム検出器。

**【請求項 10】**

前記検出器感度のスペクトル分布は、調整装置によって、明順応している人間の眼のスペクトル分布（700）と暗順応している人間の眼のスペクトル分布（702）の間で切り替え可能である、請求項9記載のビーム検出器。

**【請求項 11】**

色センサとして、3つの原色、例えば赤、緑および青を検出するために作動可能である、請求項1から10までの少なくとも1項記載のビーム検出器。

**【請求項 12】**

1つまたは多数の狭帯域の感度チャネル（801…809）を有している、請求項1から11までの少なくとも1項記載のビーム検出器。

**【請求項 13】**

前記調整装置は、集積回路として構成されている、請求項1から12までの少なくとも1項記載のビーム検出器。